# 令和元年度

# 市立旭川病院 業務・決算報告

~市立病院ってどんな病院なの?~







令和2年(2020年)10月

市立旭川病院



## 目次

	はじめに	· 1
Ι	市立旭川病院はどんなところ?	2
1	どんな病院なの?	2
2	どんな特色があるの?	··· 4
П	市立旭川病院の経営状況はどうなの?	5
1	令和元年度の決算は?	- 5
2	医療の提供による収支はどうだったの?	6
3	器械の購入など設備投資はどうだったの?	7
4	令和元年度は経営改善に向けて	
	どんなことに取り組んだの?	8
5	経営状況の推移はどうなの?	9

### 市立病院のシンボルマーク



ハートの形のピンクとオレンジは、大人と子どもを表しています (患者さんやご家族)。ハートを囲む緑の輪が、病院で働く職員を表します。ピンクは「子どもを守る大人の優しさ」を、オレンジは「子どもの元気さや明るさ」を、緑は「森のような深い優しさ、温かさ」を意味します。

病院は、不安な気持ちでいっぱいな患者さんやご家族を温かな優しさで包み込み、心も体もケアしてくれる場所というイメージを表現しています。このマークのコンセプトは、「包み込む優しさ」です。

## はじめに

市立旭川病院は、診療科24科、病床数478床を有する市内有数の公的医療機関として、令和元年度では入院で延べ約11万人、外来で約22万人の患者を診療し、地域医療の提供に大きな役割を果たしています。

近年,医療を取り巻く環境は大きく変動しており,人口減少や医師不足に加え,医療費の抑制を目標とした政策のもと,病院から在宅での治療へと体制づくりが進められており,病院経営にとっては厳しい状況となっています。

当院においても、患者数の減少や医師不足から整形外科が休棟しているほか、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、難しい経営状況が続いています。

そのような中でも、当院の基本理念と基本方針の精神に則り、市民の皆様が安心して暮らすことができるよう、新型コロナウイルス感染症に伴う集中的な治療体制の構築など、職員一同努力を続けています。

令和元年度の決算内容を中心にこの冊子を作成しましたが,当院の経営 状況のほか,当院の役割や取組なども合わせて,ご理解いただければ幸い です。

### 【市立病院の基本理念と基本方針】

### 《基本理念》

患者さん中心の医療を行い、市民から信頼される病院を目指します。

#### 《基本方針》

- 1高度医療を担い、安全で質の高い医療を提供します。
- 2地域の病院・診療所と連携し、地域医療の向上に努めます。
- 3救急医療を担い、市民に安心な医療を提供します。
- 4公共性を確保し、健全な病院経営に努めます。
- 5教育研修を充実し、人材育成に努めます。

## I 市立旭川病院はどんなところ?

## 1 どんな病院なの?

市立旭川病院は昭和5年に旭川市立診療所として開設され,今年で90周年を迎えました。これまで、道北一円の基幹病院の一つとして、旭川市民をはじめ広く道民の方々の体や心の治療やケアのため、良質で安全な医療サービスを提供しています。

#### (1) 地域がん診療連携拠点病院として

循環器・消化器領域をはじめとした各診療科において、高度先進医療を提供しており、がん治療においては、治療の三本柱である、手術・化学療法・放射線治療を行っています。特に、消化管がんの精密診断と最新の内視鏡治療を積極的に行っているほか、手術支援ロボット「ダヴィンチ」や放射線治療機器など、最新の医療器械を導入することで、高度医療の提供と地域医療の質の向上に努めています。

## 手術支援ロボット「ダヴィンチ」

令和2年7月から、手術支援ロボット ダヴィンチが新しい機種になりました。 これまで当院では、泌尿器科での前立腺がんや腎臓がん等の手術に使用してきました。今後は外科の手術でも使用する予定です。



#### (2) 地域における医療連携体制について

地域でより良い医療を提供するためには、近隣の医療機関と役割を分担し協力し合うことが必要ですが、市立病院では地域の200以上の医療機関に登録医として協力してもらい連携体制を構築しているほか、患者さんの病気や障害に関する様々な不安や困りごとに対し、医療福祉相談体制を整えています。

#### (3)感染症指定医療機関として

全国的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症については、地域 唯一の感染症指定医療機関として陽性患者等を受け入れています。そのほか、感染が疑われる患者さんへの診察・検査を行う発熱外来を実施している ほか、さらなる患者増を想定した入院病床の確保など、万が一の場合を想定 した医療体制づくりを進めています。

そのほか、民間の病院では実施が難しい不採算医療を担うなど、公立病院としての使命を果たしながら、市民から信頼される病院を目指しています。

## 放射線治療機器「リニアック」

コンピュータ制御で治療部位に放射線を的確に照射する治療が可能です。





#### 感染症指定 医療機関

#### 道北で唯一の感染症病棟 を保有

感染症病棟とは一般病棟で対応するには危険性が高い感染症(SARSやMERS,新型コロナウイルスなど)の患者さんを収容し治療する特別な医療施設です。

特に新型コロナウイルス感染 症では、次の取組を行ってお り、地域における集中的な医療 体制を確保しています。

#### 【主な取組】

- ○感染者等の受入れ
- 〇発熱外来の実施
- 〇一般病床42床の空床確保

#### 精神科

市内の多くの身体合併症 患者を引受け

精神科病棟100床を有する総合病院として、身体の病状を抱えた精神疾患の患者さんに、精神科以外の診療科と連携して治療に当たっています。

### 小児一 次救急

準夜間帯の小児診療のため, 市立病院をセンター化

各クリニックで行っていた準 夜間帯(19時~22時)の小児 診療を、平成26年度から市立病 院でセンター化し、地域の医療 機関の負担を軽減するととも に、患者さんの利便性も向上さ せています。

## 夜間急病 センター

24時間365日**,** 医療 を提供

旭川市医師会で運営していた 夜間急病センターを平成30年度 から市立病院で運営することに より、夜間の一次救急を担い、 いつでも医療を受けられる体制 づくりに貢献しています。

#### 2次救急

輪番5病院の1つとして 救急車を受入れ

重症患者を休日・夜間を問わず24時間体制でケアするため、 市内の5病院で当番制により診療を実施。当院はその1つの病院として役割を果たしています。

## Ⅱ 市立旭川病院の経営状況はどうなの?

## 1 令和元年度の決算は?

市立旭川病院は、主に医療の提供に係る収入と支出をまとめた「収益的収支」と、医療器械の購入や借入金などの投資に係る「資本的収支」に分けて収支状況を管理しています。

収益的収支では、1億9,133万円の黒字となりましたが、資本的収支では、借入金の返済により、4億1,744万円の赤字となりました。

収益的収支と資本的収支を合計し、前年度からの繰り越しを合計した結果、年度末資金は9億2,856万円のマイナスとなっています。

## 【予算と決算】

		予算額(A)	決算額(B)	増減(B—A)
収	収入 入院収益など	1 2 4億8,588万円	112億9,261万円	△11億9,327万円
益的収支	支出 給与費・薬品費など	116億4,399万円	111億128万円	△5億4,271万円
	差引	8億4,189万円	1億9,133万円	
資土	収入 借入金など	9億8,379万円	9億3,962万円	△4,417万円
本的収支	支出 借入金の返済など	1 4億634万円	1 3億5,706万円	△4,928万円
	差引	△4億2,255万円	△4億1,744万円	

## 【年度末資金】

	予算額(A)	決算額(B)	増減(B—A)
資金残高	△7億5,824万円	△9億2,856万円	△1億7,032万円

## 2 医療の提供による収支はどうだったの?

市立病院は、主に診療による収入により、経営を行っていますが、公立病院の役割の一つである不採算医療については、旭川市などから補助金の交付を受けています。

費用については、主に医師・看護師・薬剤師等の人件費のほか、薬品などの購入費、建物や医療器械の維持管理費に支出しています。

## 医療の提供にかかわる収支決算(収益的収支)

#### 【収入】

項目	収入額	説明
医業収益	94億7,589万円	入院や外来での医療行為に係る収入です。
負担金•補助金	10億9,654万円	不採算な医療に関する旭川市からの負担金などです。
長期前受金戻入	6億2,566万円	減価償却費等に見合う補助金収入などです。
その他	9,452万円	駐車場の使用料などです。
収入合計	112億9,261万円	

#### 【支出】

項目	支出額	説明
給与費	55億8,315万円	職員の人件費です。
材料費	29億2,308万円	診療に使用する薬品や診療材料などの購入費です。
経費	17億8,560万円	建物・医療器械の維持管理費や患者さんの給食や窓口業務の委託料などです。
減価償却費等	6億672万円	建物や医療器械の使用に伴う資産価値減少分です。
研究研修費	4,740万円	医療の質を保つために必要な医師・看護師・薬剤師 等の研修費などです。
支払利息	2,165万円	借入金の返済利子です。
その他	1億3,368万円	税務署に納める消費税などです。
支出合計	111億128万円	

## 3 器械の購入など設備投資はどうだったの?

市立病院は日々進歩する医療技術に対応し、高度な医療ニーズに応えるため、医療器械の整備・更新を毎年度行っています。

医療器械は高額なものも多く、器械が古くなるとメンテナンスや修理に多額の費用がかかるため、計画的に更新を進めていくことが必要となります。

令和元年度は、老朽化している外来棟の冷暖房設備を改修したほか、X線 CT装置の更新などを行いました。

## 設備投資にかかわる収支決算(資本的収支)

#### 【収入】

項目	収入額	説明
企業債	3億7,420万円	医療器械等を整備するための借入金です。
補助金	143万円	医療器械等を整備するための補助金です。
一般会計負担金	5億6,399万円	借入金を返済するための旭川市の負担金です。
収入合計	9億3,962万円	

#### 【支出】

項目	支出額	説明
建設改良費	4億6,402万円	
建物	2億1,771万円	建物の工事費です。
器械備品	1億6,693万円	医療器械の購入費です。
リース債務支払額	7,938万円	医療器械のリース費用です。
企業債償還金	8億9,304万円	借入金の返済元金です。
支出合計	13億5,706万円	

<sup>※</sup>収入が支出に不足する額4億1,744万円については、一時借入金等で補っています。

## 4 令和元年度は経営改善に向けて, どんなことに取り組んだの?

## ①ゴールデンウィークの開院

#### 効果額 +3,600万円

救急患者や市内の診療所の負担軽減のため、2日間外来診療を行ったことにより、新たな収入を得ることができました。

②給与削減

### 効果額 +1億2,300万円

今後の財務状況を踏まえ、平成 30年11月から令和2年10月ま での2年間、市立病院独自で職員の 給与削減を実施しています。

## ③病床再編 △38床

#### 効果額 +1億3,300万円

看護師等の人材不足への対応や病 床利用率を向上させるため,地域包 括ケア病棟を休床し,病棟の効率化 を図りました。

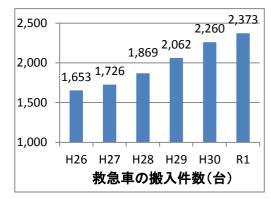
## ④アブレーション治療開始

#### 効果額 +7,500万円

不整脈の患者さんに体の負担が少ないアブレーション治療を開始したことにより、新たな収入を得ることができました。

## ⑤断らない救急

救急車の搬入について,人員に限 りがある中でも,可能な限り受け入 れるよう努力し,地域の救急医療に 貢献しています。



## ⑥病院まつりの開催

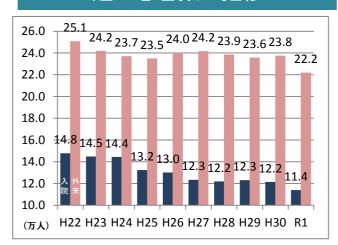
### 来場者 2,500人

最新の医療機器の操作体験や手術 室等を見学できる院内ツアーなど、 病院の魅力を伝えるためのイベント を初開催し、たくさんの来場者にPR することができました。



## 5 経営状況の推移はどうなの?

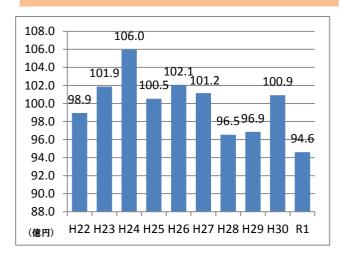
### 延べ患者数の推移



令和元年度は入院と外来を合わせて年間約34万人の患者さんの診療に当たりましたが、人口減少などの影響で患者数は減少傾向にあります。

特に産婦人科の分娩休止などの影響により、令和元年度の患者さんは 平成30年度と比較して約2.4万人 減少しており厳しい状況です。

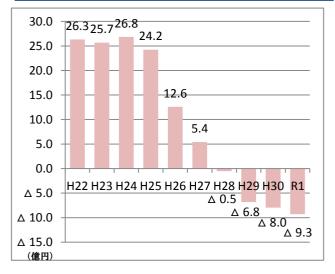
## 医業収益の推移



令和元年度は,産婦人科の医師不足のほか,新型コロナウイルス感染症なども影響し,大きく収入が減少しました。

市民にとって必要な医療を提供するためには、安定した経営が必要なため、改善に努める必要があります。

### 資金残高の推移



一般家庭でいう貯金額に当たる資金残高は,最近の厳しい経営状況から大きく減少しております。

資金残高がこれ以上減少すると, 自律的な経営に支障をきたすため, 引き続き改善に努めます。

## 市立旭川病院公式SNSのご案内



発行:令和2年(2020年)10月編集:市立旭川病院事務局経営管理課

070-8610 旭川市金星町1丁目1番65号

TEL: 0166-24-3181 FAX: 0166-27-8505

https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/hospital/